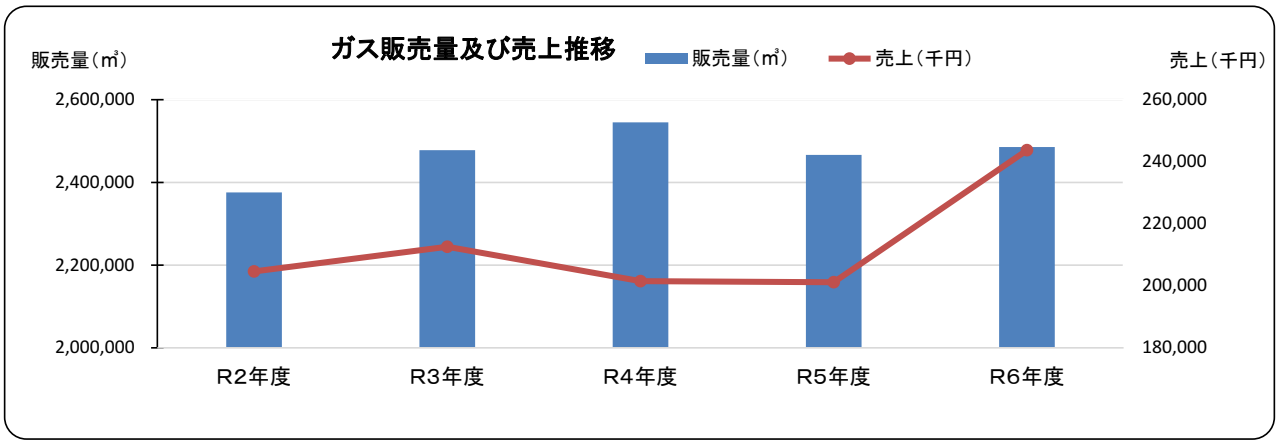
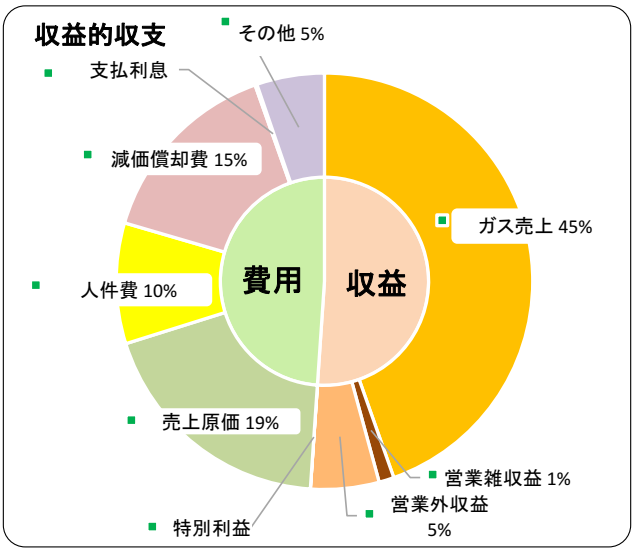
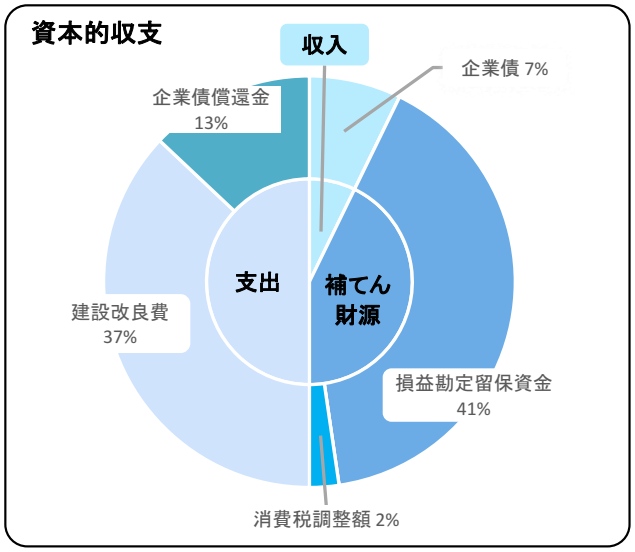
令和6年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事　　業　　概　　要	
・ 年度末需要家件数　2,864件【年間累計数：34,392件】	（対前年度 ▲4件、年間累計 ▲118件）
・ ガス販売量（9,200kcal）　2,485,428㎥	（対前年度 +18,843㎥）
・ ガス導管延長　120,604.9m	（対前年度増減なし）
・ 供給管本数　3,328本	（対前年度 +10本）



収　　支	予算額（A）千円	決算額（B）千円	増減額（B）-（A）	対前年度比（%）
収益的収支（税抜）				
ガス事業収益	288,275	279,109	▲ 9,166	106.1%
ガス事業費用	287,388	267,288	▲ 20,100	102.1%
当年度純利益（▲損失）	―	11,821	―	▲ 970.5%
繰越利益剰余金	―	▲ 10,940	―	10.0%
その他未処分利益剰余金変動額	―	0	―	―
当年度未処分利益剰余金（▲未処理欠損金）	―	881	―	108.1%
資本的収支（税込）				
資本的収入	44,801	12,200	▲ 32,601	40.7%
資本的支出	183,610	84,392	▲ 99,218	64.0%
差引不足額	―	72,192	―	78.6%



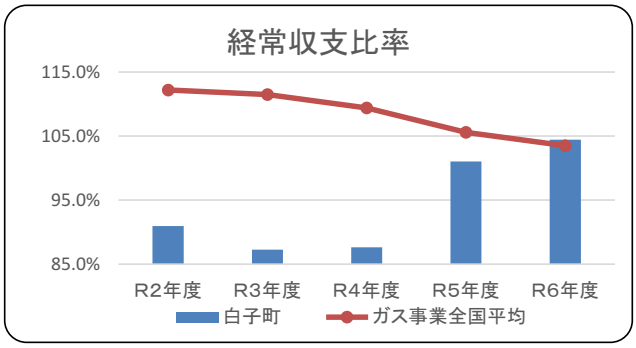


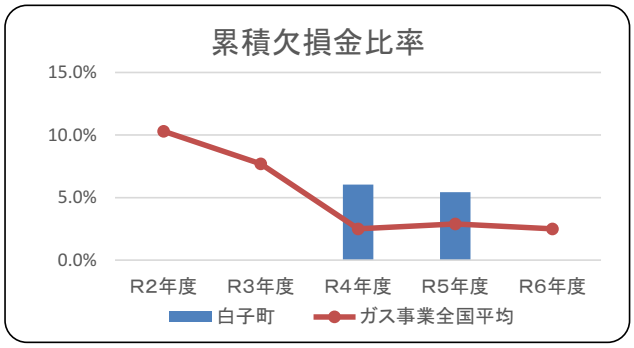
収　支　概　要

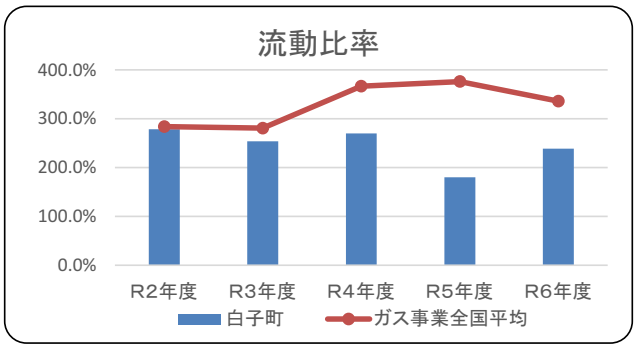
収益的収支（税抜）の収益面にて、通年における改定料金の適用に伴う収益改善効果により総収益は 279,109千円（16,082千円増）でありました。特にガス売上においては値引き支援単価縮小の影響もあり前年度比 121.1%を計上しました。
対する費用面では、物価等の上昇に伴うガス売上原価の上昇（前年度比 106.9%）および費用抑制効果の高い人員削減を令和5年度に実施したものの、事業進捗に遅れが生じたため、令和6年度に人員1名増員した影響（前年度比 118.0%）もあり総費用は267,288千円（5,480千円増）でありました。
収益が費用を上回り経営改善効果が表れ、当年度純利益 11,821千円が生じましたが前年度繰越欠損金 10,940千円の解消に充てた残高を繰越利益剰余金 881千円としました。
また、資本的収支（税込み）では、企業債に伴う収入総額 12,200千円、事業進捗の遅れを取り戻すことが出来なかったものの、安全安定供給への固定資産整備に従事した支出総額は 84,392千円であったことから資本的収入額が不足する額 72,192千円を当年度分消費税資本的収支調整額 3,890千円、過年度及び当年度の損益勘定留保資金 68,302千円で補てんしました。

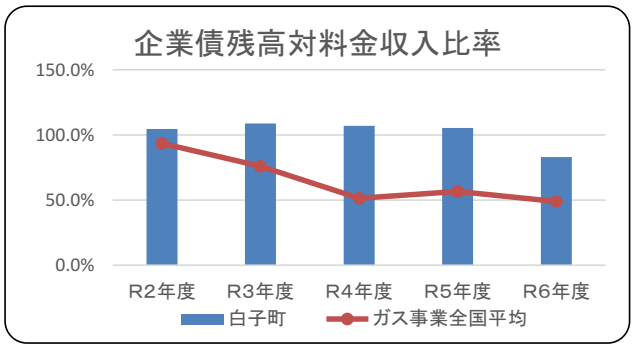
剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金（▲未処理欠損金）
R6年度期首残高（A）	13,250千円	0千円	49,379千円	▲ 10,940千円
当年度純利益（損失）	―	―	―	11,821千円
当年度剰余金変動額（B）	0千円	0千円	0千円	0千円
R6年度期末残高（A）-（B）	13,250千円	0千円	49,379千円	881千円

財務分析指標









経営健全化判断比率

公営企業法の有無	算　　式	経営健全化基準	資　金　不　足　比　率
有	（流動負債+建設改良に充てる企業債-流動資産）/（営業収益-受注工事収益）*100	20.0%	―

※　算出されない場合は「－」表示